

地域と共にコロナ禍に挑む 多摩部の公園

陵南公園 小宮公園 滝山公園 大戸緑地

1 はじめに

2020年、新型コロナウイルス感染症が広がる中、人々の生活は大きく変化しました。移動の自粛、三密回避など制約の多い生活に、人々は様々な不安やストレスを抱えました。そして、行場を失った人々は身近な公園に集いました。みどり豊かな開放空間である公園は、安心して身体と心をリフレッシュできる場だからです。

公園には、これまで以上に、少子・高齢化やコミュニティの希薄化など、地域課題の解決の場としての期待が寄せられました。コロナ禍に翻弄されながらも地域に向き合い、地域との信頼関係の中にコロナ禍を乗り越えていく知恵を見出した多摩部の公園グループの取り組みをご紹介します。

2 「多摩部の公園グループ」とは

POINT 01 周辺環境と管理運営方針

管理運営方針

「きわだつ個性！地域を輝かせる公園づくり」

東京都立「多摩部の公園グループ」は、東京都の西部、八王子市と町田市にまたがる4つの公園を指します。各公園の地域特性と公園特性をもとに、地域とのつながりを大切に育みながら公園づくりを進めています。

POINT 02 個性的な公園群の管理テーマ

当公園グループは、立地や利用特性の異なる個性豊かな4つの公園で構成されています。各公園の特徴とたちが設けたテーマは次の通りです。



陵南公園

テーマ

スポーツとガーデニングで
身体と心の健康を育む
多世代型ヘルシーパーク

ポイント

大規模団地に隣接し
スポーツ施設が充実

小宮公園

テーマ

四季の移ろいが体験できる
里山公園・
地域の環境教育拠点

ポイント

雑木林と湧水の流れ、
環境教育施設を持つ
丘陵地公園

滝山公園

テーマ

戦国に思いを馳せる
山城公園

ポイント

山城の遺構と豊かな
自然に包まれた城址公園
国史跡・続日本100名城 選定

大戸緑地

テーマ

深い自然の中で
本格的な自然体験が
できる森林公園

ポイント

世界的に知名度の高い
「高尾山」に隣接する
豊かな自然を持つ公園

3 個性豊かな公園に磨きをかける パークマネジメント

個性的で魅力あふれる当公園グループに磨きをかけるため
以下のマネジメント手法を採用しています。

POINT 01 各公園のポテンシャル分析

地域に根ざした公園づくりを進める上で、各公園の魅力を最大限に
発揮するためには、客観的に2つの特性を把握することが大切です。

私たちは、管理開始当初から「公園の特性」(開園の経緯、立地特性、
利用状況等)と公園を取り巻く「地域の特性」(公的施設、学校、店舗や
企業、市民団体等)を整理し、公園づくりの方向性を明確にしています。

これらの特性を把握し、公園と地域のポテンシャル(潜在力)を、
産官学民、多様なパートナーとともに引き出すことで、公園のオリジナ
リティが際立つ、具体的なプロジェクトに反映します。



POINT 02 専門スタッフの配置

管理運営にあたっている複数団体それぞれの技術やノウハウを最大限に活かし、公園管理運営の目標
の実現のため、専門的な技術、ノウハウを持った6つの部署を設置。ボランティア活動や地域連携で、人々
をつなげる「パークコーディネーター」、自然の大切さを伝える「パークレンジャー」等、専門スタッフを配置
しています。

パークコーディネーター

地域や住民との連携で
公園づくりを行う専門スタッフ



地域連携や協働事業
における

課題の抽出 解決策の提案

新たな活動へ

公園や地域の
価値を高める企画立案

多様な主体が公園づくりに
参画する受け皿をつくる
役割を担当

パークレンジャー

動植物のモニタリング調査や
安全確認を行う専門スタッフ



公園を日々パトロール

自然に造詣が深く
季節の見どころ情報や、
自然解説や展示を通して
地域の自然・歴史の魅力発信

多様な世代への自然体験
プログラムを企画、実施

各業務の専門スタッフ

連携

産官学民の多様な主体

質の高いパークマネジメントが実現&
公園の価値が高まる

さらに、

多彩なパートナーの公園づくりへの参画を促すことで、
公園の利活用が進み、地域全体の活性化にもつながります

4 各公園のWithコロナの取り組み

コロナ禍で浮き彫りになった地域課題に各公園が地域と向き合った取り組みをご紹介します。

来園者の心を癒す
ウェルカムガーデン

陵南公園 RYONAN PARK

身体と心の健康を育む
「ヘルシーパーク」



公園と地域の特性

- ・野球場、健康遊具など運動施設が充実したスポーツ公園
- ・季節を感じる多様な花壇
- ・住宅地や大規模団地に囲まれ、高齢者・子育て世代が多く利用

コロナ禍で浮き彫りになった地域課題

- ・外出自粛でストレスを溜める子育て層や不安を抱える高齢者が増加
- ・身体を動かす機会が減り、体力が減退
- ・人と話す機会がなくなり、精神的な不安定に陥る人々

取り組みと効果

連携した主体 八王子市子どものしあわせ課 八王子市オリンピック・パラリンピック推進室
近隣大型体育施設管理者 国際ボランティア学生協会 ガーデンサポーター 朝の太極拳グループ etc.

TRY 01 からだの健康づくりー健康を維持するスポーツプログラムー

親子で楽しめるスポーツイベント
「Park SPORTS WEEK」を開催
保育士や地域のスポーツコーディネーターによる、
スポーツ教室、親子遊び、青空ヨガなど、12種のプログラムを展開

アンケートの
満足度
100%

- ⇒ 分散開催した3日間でのべ600人以上が参加し、
のびのびと身体を動かし、元気になる場を提供



はらっぱスポーツ教室

緑の中でゆっくりと身体を動かす
「太極拳で健康づくり体操」を実施

- ⇒ 「身体を動かして心が晴れた」「外で運動できてうれしい」
など感謝の声が多数寄せられ、高齢者の健康増進に貢献



青空の下で太極拳体操

TRY 02 こころの健康づくりー心を癒すガーデンプログラムー

「土づくり」がテーマのガーデン講座や、
ガーデンサポーターや学生ボランティアと花壇づくり

- ⇒ 花壇を通じて、癒しの空間を提供し、
地域住民同士をつなぐことに成功



ガーデンサポーターと花壇づくり

小宮公園 KOMIYA PARK

Withコロナで自然体験を
継続し、公園の新たな利用へ



環境教育拠点の
雑木林ホール

公園と地域の特性

- ・四季の移ろいが体験できる里山公園
- ・地域の環境教育の拠点であるビジターセンターの存在
- ・周辺に小中学校等の教育施設が点在

コロナ禍で浮き彫りになった地域課題

- ・教育機関・児童施設の閉鎖に伴い行き場を失った子どもたちが急増
- ・子育て層からは、閉じこもり、孤独、子育ての不安の声
「家でテレビばかりみている」「もっと自然にふれさせたい」
「子育ての話をする場がない」などの声が寄せられた

取り組みと効果

連携した主体 八王子市子ども家庭部保育幼稚園課 公園ボランティアどんぐり会
近隣保育園や小学校6校 地元の人気店 etc.

TRY 01 行き場を失った子どもたちに環境教育サービスを提供

「セルフガイドシート」を充実し、簡単に遊べる
ビンゴシートやフィールドノートなど38種を展開

参加者
約9,000人

- ⇒ セルフガイドの活用で、1.5倍の参加者が園内を周遊し、
自然度の高いエリアへ利用拡大



セルフガイド
各種

オンラインでレンジャーとコミュニケーション「いきものなぜなぜウィーク」開催

- ⇒ 子どもたちの質問に、パークレンジャーが掲示やブログ、
YouTubeの動画配信で、楽しくわかりやすく回答し、
公園が自然と子どもを繋ぎ続けることに成功



昆虫のうんこは
なぜきくのか？

TRY 02 コロナ禍の子育て不安を自然の中で解消

八王子市と共催で、公園で自然体験ができ、
子育て相談もできるプログラム「ぼうけん広場」を開催
パークレンジャーが0歳児から自然に親しむ環境教育プログラムを提供

落ち葉と焚火に癒されながら多世代が交流できる
「冬＊カフェday」を連続開催

6日間で参加者
約700人以上

- ⇒ コロナ禍の子育て不安の解消に貢献
- ⇒ 30代女性が初めて公園利用者層のトップになり、
利用者層の拡大にもつなげた



冬＊カフェday

滝山公園 TAKIYAMA PARK

Withコロナのノウハウが、地域の誇りを輝かせる



国史跡、
続日本100名城
日本遺産にもなった
山城公園

公園と地域の特性

- ・滝山城跡は、国史跡、続日本100名城にも選ばれた戦国時代の山城公園
- ・地域の誇りであり、地域興しの切り札
- ・全国から歴史マニアが来園する人気のスポット

コロナ禍で浮き彫りになった地域課題

- ・2021年の築城500年イベントに向けて、地域の実行委員会で計画していたプレイベントが、コロナ禍で頓挫
- ・東京2020で期待したインバウンドや、市外からの広域利用が難しい状況

取り組みと効果

連携した主体 八王子市産業振興部観光課 八王子市教育委員会 八王子商工会議所
滝山城跡群・自然と歴史を守る会 工学院大学建築学部など12団体による実行委員会

TRY 01 セルフガイドシートにより、「滝山城ワードラリー」を初開催

公園が持つノウハウを活かし、滝山城の遺構を巡り戦国時代へ誘うワードラリーを実施

2週間で定員の
500人参加

- ⇒ 八王子市がワードラリーの景品を提供し、近隣の市民センターが景品配布を担当
- ⇒ 地域が一丸となり、地元の市民や子どもたちを楽しんでもらうプログラムを提供し、連携で地域課題を乗り越えた



TRY 02 パークレンジャーによる滝山城跡紹介動画の発信

歴史と自然の両方の魅力を紹介する動画「滝山城は500歳！歴史と自然のディスカバリーツアー」を作成し、YouTubeや関係ホームページで配信

- ⇒ 滝山城の魅力をより多くの人、広い世代へしっかりと発信
- ⇒ 歴史だけではなく、自然の魅力も伝えることで、「地域の宝」である滝山城跡の価値をさらに高めた



大戸緑地 OTO PARK

新しいニーズ「マイクロツーリズム」に答える



多様な
自然環境が
楽しめる森林公園

公園と地域の特性

- ・深山から里山まで、多様な自然環境が楽しめる森林公園
- ・関東平野を一望しながら、高尾山へつながるハイキングコース
- ・町田市の宿泊型自然体験施設が隣接

コロナ禍で浮き彫りになった地域課題

- ・コロナ禍での外出・移動自粛により、本エリアへの来訪者が大幅に減少
- ・緊急事態宣言発令を受け、各種イベントの中止

取り組みと効果

連携した主体 町田市大地沢青少年センター 八王子市公園課 高尾ビジターセンター
大戸源流森の会 多摩森林科学園 高尾の森自然学校 地元のカフェ・人気店 etc.

TRY 01 マイクロツーリズムのニーズを取り込むために、公園周遊マップを作成

直近の一大観光地である高尾山や、周囲の人気スポットと公園をつなぐ新たな導線を紹介

周辺のおすすめスポット
31カ所を紹介

- ⇒ 新たな利用者ニーズに着実に対応し、身近な自然を満喫する「マイクロツーリズム」の期待に応えた

TRY 02 感染症拡大防止対策を徹底したイベントを開催

感染予防を徹底し、森の中で楽しめる「あつまれ！森キッズ」を開催 ツリーイングや森のワードラリーなど、自然体験プログラムを展開

- ⇒ コロナ禍でも、親子での楽しい時間と本物の自然に触れる機会を提供



5 おわりに

コロナ禍の2020年。私たちは、予測不能な感染症の拡大に対応しました。公園には多くの人が押し寄せ、トラブルが急増、イベントは中止に追い込まれ、公園だけでなく地域社会も八方塞がりの状況になりました。

刻々と状況が変化中、私たちはあらためて地域に向き合い、住民の一人一人の声に耳を傾けたことで、コロナ禍でこそできることが見えてきました。これまで培ってきた地域との関係性を頼りに、地域課題を公園に取り込みながら、解決手段を探り、コロナ禍で求められる新たなニーズに応えました。その結果、公園の地域貢献力は高まり、地域との信頼関係は一層深まりました。これからも地域の人と人とのつながりを大切にし、地域に寄り添える公園であり続けます。